第3種郵便物認可

不登校 自ら描いた

「東京シューレ」通学者が映画 14日上映会

いじめ・居場所…4話31分

不登校の子どもたちが、自分たちの体験をもとに脚本から演技、編集までを手がけた映画が誕生した。タイトルは「不登校なう～居場所を求める私たち」。14日には北区王子1丁目の北とぴあで完成記念上映会が開かれる。

映画を作ったのは、85年に開設されたフリースクールの草分け的存在である「東京シューレ」（北区、奥地圭子理事長）に通う子どもたち。25周年記念作品として、全員の共通体験でもある不登校をテーマに、互いの経験を話し合い、4話のオムニバス形式で31分にまとめた。

第2話「かなの場合」で監督、脚本、主演をこなした松本萌さん(18)は、主人公の少女に自分を重ねた。

フリースクールに通う花菜はある日、いじめが原因で中学生が自殺したニュースを知り、過去の自分を思い出す。

ノートに「死ね」と書かれたり、上履きを隠されたり。ついには机に菊を「お供え」される。先生は、そんな花菜にも問題があり、「性格を直せ」「保健室通学をしろ」と言う。花菜は耐えきれず、自分の部屋に閉じこもって叫び続ける―。

現在をカラー、過去を白黒の画面で表現した。「菊の色が鮮明だと、印象が強くなって、つらくなるから」と松本さん。

ノートに落書きされる場面。いじめる生徒役の迫真の演技が恐ろしかった。「本当にいじめられているような気持ちになって『カット』の声でほっとするほどでした」と振り返る。

学校になじめない少女を描いた第1話「あずさの場合」の脚本と監督を担当した島夢美さん(20)は「学校も家庭も『居場所』であってほしいが、私たちはここを選んだ。ここには受け止めてくれる大人がいた。映画で経験を広く発信し、フリースクールの存在を知ってもらいたい」と話す。

初めて訪れた少女の視点でフリースクールを描いた第4話「そして……」を、島さんと共に手がけたケリー・ブランドン君(17)は全編に登場する活躍ぶり。

シューレに通い初めて3年だが、脚本作りを通して、初めてみんなと突っ込んだ話ができるようになったという。「映像の編集が評価され、インターネットを通じて米国の友人からも依頼されるようになり交流が広がりました」

撮影は昨年の夏休みを中心に行われ、シューレのスタッフや保護者も出演した。子どもたちを見守ってきた奥地理事長は「子どもが作った不登校の映画は初めてだと思う。子どもたちは自信を持ち、不登校についてオープンに話し合うことで自分の経験を振り返り、整理する機会になったのでは」と話す。

記念上映会は午後6時半から。無料。シューレの25年を追ったドキュメンタリー「僕は僕でよかったんだ」の上映や出身者の経験談もある。映画DVDも販売される。問い合わせは東京シューレ（03・5993・3135）へ。（菅野みゆき）

映画を監督した3人。右からケリー・ブランドン君、島夢美さん、松本萌さん＝北区岸町1丁目の東京シューレ

「不登校なう」の第2話「かなの場合」のシーン。中央は主人公松林花菜を演じる松本萌さん

桜田門外の変「井伊直弼けがで帰宅」

虚偽報告、伝聞か 立川の民家に文書

幕末の大老で彦根藩主の井伊直弼が1860（安政7）年、水戸の脱藩浪士らに暗殺され、首まで一時持ち去られた「桜田門外の変」。その大老が事件後、「襲撃でけがを負い、ひとまず帰宅した」と幕府に報告する内容の文書が立川市内の民家から見つかった。

両藩の全面衝突を恐れた幕府の調整で、大老は事件後も生きているとする虚偽報告があったのは史実。見つかった文書には文章の欠落や誤字があり、もとの報告書が何度も書き写された可能性がある。彦根藩の史料に詳しい彦根城博物館（滋賀県彦根市）は「江戸市中の耳目を集める大事件だっただけに、伝言ゲームのようにして多摩地域まで情報が伝わったのかもしれない」と推測している。

古文書は幅16センチ、長さ94センチ。薄い和紙に墨で書かれ、四つに切れた状態で残っていた。立川市柴崎町1丁目の不動産賃貸業、立川勝彦さん(67)が2008年10月、曽祖父の代から立っていたという自宅の蔵にあった古タンスを整理していたところ、引き出しの奥のもう一つの「隠し引き出し」から見つけた。

判読は難しかったが、1行目に〈外桜田〉と読み取れた。「桜田門外の変の関係文書では」と直感した立川さんは、立川市歴史民俗資料館に解読を依頼。昨秋までに、こんな内容だった。

中央に〈捕押方等差図いたし候所 怪我候付一先帰宅致候〉と書かれている

――今朝、江戸城に登城する途中、外桜田の松平大隅守の門前と上杉弾正大弼の辻番所の間で、狼藉者（水戸浪士ら）が鉄砲を撃ってきた。それ以外の2人が抜刀してきた。井伊家側はそれに防戦し、狼藉者のうち1人を討ち取り、ほかの者に手傷や深手などを負わせたので、ことごとく逃げ去った。私（井伊直弼）は狼藉者の捕り押さえを指示していたところ、けがをしたので、ひとまず帰宅した。ただし、供の者をはじめとした即死した者、負傷した者は別紙の通り。このことを届けます――。

文書は事件当日の3月3日付で、差出人は井伊直弼。〈別紙〉には彦根藩士17人の氏名が即死や重傷、軽傷に分けて並び、末尾に襲撃者側の薩摩浪士の有村次左衛門が逃走後に死亡した、との記載もある。

報告書の下書きか写しとみられる文書を彦根城博物館が保管している。かごをめがけて浪士が切り込んだ、という博物館の文書にある一文が立川の文書には欠落し、抜刀した2人は、博物館の文書ではほぼ史実通りの〈20人余〉となっている。負傷した彦根藩士のうち、沢村軍六を〈沢村軍太〉、小河原秀之丞を〈小河原秀之助〉と書くなど、6人の氏名の一部が誤っていた。末尾の薩摩浪士のくだりも博物館の文書にはない。

博物館学芸員（33）の俊郎学芸員は「文書について容が外部に漏れ、の人物が伝言ゲーに聞き取ったりしていくうち欠落や誤字が生れる。襲撃者側う新情報は、そけ加わった可能と指摘する。

幕府はなぜ重大整をする必要か。青木さんは「ち取られたと武士の全面衝突はれがあった。事態の沈静化たのではないか」死去は事件の翌日とされた。

30年ぶり「娘道成寺」

長嶺ヤス子さん、喜寿祝い

舞踊家の長嶺ヤス子さん(75)が、1980年度の芸術祭大賞を獲得した「娘道成寺」を30年ぶりに踊る。「常に新しいものに挑戦していたい」と封印してきたが、数え年での喜寿を記念。誕生日の13日、新宿区のシアターレストラン「エル・フラメンコ」で披露する。

「娘道成寺」は歌舞伎舞踊でも人気の演目だが、長嶺版は激しい足踏みなどフラメンコの技法を駆使。大きな話題を呼び、長嶺さんの名を広く知らしめた。初めて日本の伝統芸能を採り入れ、長嶺さんが「今の私の原点」と言う作品だ。

「娘道成寺」を踊る長嶺ヤス子さん＝1982年、ニューヨークのリンカーンセンター、関口照生さん撮影

渋谷のNHKをはじめ各地で上演か、82年にはニューヨークにも進出ーンセンターした。最後に踊っの年の凱旋公演

当時の会場は唄や囃子の連中並び、道成寺のる大きな鐘もにはその鐘にがかりな演出が、今回は小さめ、演出も大幅る。「昔の映像としています。舞れないし、鐘をう迫力を出すえています」と

一方で、当時めてで、音の取だった。が、経験を重ね、えるようになった「原点に返る

東京

千代田 中央 新宿 港 文京 品川 北 目黒 大田 世田谷 渋谷 中野 杉並 豊島 板橋 練馬

速報や写真・話題の提供、催しなどの連絡先
朝日新聞 東京総局
〒100-0011
千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル3階
☎ 03・3508・0390
fax 03・5157・0615
mail tokyo@asahi.com

購読・配達のご用は
☎ 0120・33・0843 (7:00～21:00)
広告のご用は
☎ 03・3547・5552
折り込みのご用は
☎ 03・3544・7621

きょうの天気

6～12時 降水確率 12～18時

0	大手町	0	
0	練馬	0	
0	府中	0	
0	八王子	0	

大手町 北西 府中 北東
練馬 西 八王子 北東
湿度 40% 波 1.0m

気温	最高	最低
大手町	8度	2度
練馬	9度	-1度
府中	8度	-2度
八王子	8度	-3度

あす
大手町 北東 府中 東北東
練馬 東 八王子 東
湿度 40% 波 0.5m

2月13日 旧1月22日		2月14日 旧1月23日
6.31	日出	6.30
17.20	日入	17.21
23.28	月出	——
9.17	月入	10.00
20.8	月齢	21.8

潮

東京港

13日	14日
小潮	小潮